

ライフネット生命の主要株主の異動および 新たな業務提携契約の締結に関するお知らせ

au フィナンシャルホールディングス株式会社（以下、「auFH」という。）、KDDI 株式会社（以下、「KDDI」という。）とライフネット生命保険株式会社（以下、「ライフネット生命」という。）は、2026年4月30日付で以下のとおり、新たな業務提携契約を締結することに合意しましたので、お知らせいたします。

auFH および KDDI とライフネット生命は、お客さま志向の新たな金融サービスの提供を目指して、2015年にKDDI とライフネット生命との間で資本提携契約および業務提携契約を締結以降(注)、約10年間にわたり強固なパートナーシップを築いてまいりました。その間、「auの生命ほけん」の取り扱いや、auFHの子会社であるauじぶん銀行株式会社の住宅ローン契約者向け団体信用生命保険の提供などを通じて提携関係を強化しながら、協業事業の安定的な運営体制を構築しております。

こうした中、金融・経済情勢の変化に加え、金融のデジタル化や生成AIをはじめとする技術革新の進展など、事業環境は大きく変容しております。

このような環境変化を踏まえ、当事者間で提携関係のあり方を協議した結果、auFHは保有するライフネット生命株式14,726,100株（持株比率18.32%）のすべてを、同社の新たな戦略的パートナーとなる日本航空株式会社に譲渡することを決定しました。また、auFH および KDDI とライフネット生命は、引き続き親密な協業先として新たな業務提携契約に基づき、現在の協業事業を継続させていくことに合意しました。

今回の合意により、資本関係の変更後も、auFH および KDDI とライフネット生命は相互に重要な戦略的パートナーとして関係を継続いたします。今後は新たな業務提携契約に基づき、これまで培ってきた知見とアセットを最大限に融合させ、既存の協業事業の継続とビジネスシナジーの最大化を目指してまいります。

以上

(注) KDDIは、2019年12月2日付でKDDIを吸収分割会社、auFHを吸収分割承継会社とする吸収分割を行い、KDDIが保有する全てのライフネット生命普通株式をauFHが承継しました。
これに伴い、ライフネット生命とKDDIとの資本提携契約は、ライフネット生命とauFHとの資本提携契約に移行し、また、ライフネット生命とKDDIとの間の業務提携契約は、auFHを加えた3社間の業務提携契約に変更されております。